

01 選挙を身近に感じよう

18・19歳の意識調査では、投票に行かなかった主な理由に「選挙にあまり関心がなかったから」、「面倒だったから」との意見が多くありました(※)。選挙への関心を高めるため、尾道市内ではさまざまな取り組みが行われています。

※「明るい選挙推進協議会・新有権者等若年層の参院選投票日後の意識調査」より。

選挙出前講座

選挙管理委員会事務局の職員が、市内の小・中・高等学校に出向き、児童・生徒の年齢に合わせて選挙の仕組みや投票参加の意義について講座を開いています。選挙の意義や重要性を認識してもらい、選挙年齢に達する前の意識向上を目指しています。

▶美木中学校で行われた講座の様子。選挙に関するクイズや模擬投票を通して、投票の大切さを学びました。



また、講義だけではなく、「模擬投票」も行っています。実際に選挙で使う投票記載台・選挙機材を使って、当日投票の流れなどを体験します。実際の選挙と近い雰囲気を体験することで、選挙を身近に感じるきっかけになっています。

◀御調中央小学校で行われた模擬投票の様子。教職員が架空の候補者になって演説し、児童が自ら選んで投票しました。



選挙出前講座 実施校を募集

実施校を随時募集しています。また、投票記載台・投票箱などの選挙機材の貸し出しも行っています。詳しくは、選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。※講座は、投票日が近い場合は、実施できないことがあります。

政治学習会

尾道市明るい選挙推進協議会と、各地区の女性会が主催して、政治学習会が随時開催されています。

民主主義の基盤である選挙が、明るくきれいにされるために、有権者一人ひとりが政治や選挙に関心を持つよう、市民を対象に、政治に関する講演や、選挙管理委員会事務局による選挙に関する説明を行っています。



▲1月29日(火)、広島市明るい選挙推進協議会会長の大平 泰さんを迎え、「どうなる?今年の政治」をテーマに講演がありました。

選挙への関心高揚を目指し 活動しています



広島県明るい選挙推進協議会実践委員を知っていますか?現在、尾道市内では2人の委員が活動しています。広島県の会議に出席して他市と連携したり、街頭でチラシを配るなどの活動を行い、皆さんに選挙に向けての啓発活動を行っています。

02 情報を集めよう

いざ選挙が始まると、どの政党や候補者に投票していいかわからないものです。様々な媒体を通じて、まずは情報を手に入れることから始めましょう。情報の集め方には、次のような方法があります。

インターネット 政党や候補者がホームページ・ブログ・SNSなどを通じ、政策や思いを伝えます。	テレビ 政見放送や公開討論会などで、政党や候補者の考え方や主張を知ることができます。	街頭演説 駅前などの公共の場で、政党や候補者が主義主張を述べます。
選挙公約(マニフェスト) 当選後に、世の中に対してどういう約束を果たすかが書かれた冊子です。	選挙公報 候補者のプロフィールや政策・主張を示した文書。インターネットでも同じものが公開されています。	選挙ポスター 選挙期間中は、市内各所にポスター掲示板が設置され、候補者名などがわかります。

! 情報収集にはメディアリテラシーが大切です

「メディアリテラシー」とは、情報を鵜呑みにせず、比較・検証し、自分なりの考察を加えるなどして情報を吟味する力のことです。周りの人とニュースや選挙について話し合うことも、誰に投票するか考えを深めるのに有効な手段です。



03 いま住んでいる地域で投票できるか確認しよう

いま住んでいるところに住民票があり、**3カ月以上**住んでいる

いま住んでいる地域で投票することができます
※例外もあるので、投票の際は広報やホームページなどで、投票できる人の条件を確認してください。

いま住んでいるところに住民票があるが、住んでいるのは**3カ月未満**

旧住所地で投票しましょう

選挙期間中に旧住所地に戻れない場合は…

「不在者投票」を利用できます

長期の旅行や仕事の出張などで、選挙期間中に遠方に滞在している有権者が、滞在先の市区町村で投票できる制度です。

※不在者投票は郵送で行うため、時間がかかります。利用する場合は早めに請求書を送ってください。(市ホームページでダウンロード可)

投票日当日に予定がある場合は…

「期日前投票」を利用できます

投票日に学校や仕事、旅行や冠婚葬祭などの予定が入っていて投票にいけないという人のために、公(告)示日の翌日から投票日の前日まで投票することができる期日前投票があります。



4月の統一地方選挙について、詳しくは次のページを見よう